

11 月 21 日 : VN 指数は引けにかけて急落

VN 指数は 4 か月ぶりの大幅下落、好材料のない中で警戒感が高まり、引けにかけて売り圧力が高まった。

VN 指数は 1.27% 安の 987.89 ポイントで取引を終えた。8 月 5 日の 1.81% 安以来の大幅な下落となった。

水曜日には 0.77% 下落していた。

指数は水曜日の終値の 1000.56 ポイントよりわずかに下の水準で推移していたが取引終わりにかけて大きく下落した。

流動性は改善し、出来高が 2 億 1500 万株、売買代金は 5.44 兆ドンであった。

相対取引で 1 億 7170 万株、4.1 兆ドンが取り引きされた。

VN ダイレクト証券のレポートによると、米中貿易交渉がすぐに合意に至らないということから市場心理は悪化したとのことだった。

投資家は損切をし、投資から退避しているようだった。

投資家が活発でなく、利益が出ていない場合は、彼らは安値でも売ろうとする傾向にある。

木曜日は VN30 先物の満期でもあった。899 ポイントで 22 ポイント安で取引を終えた。

損切と押し目買いでデリバティブ市場の出来高は増加、77000 以上の取引が成立した。

投機的な資金はデリバティブ市場に流れており、投資家は先物がボラタイルな動きの間は利益を得るチャンスであると同証券は語った。

短期的にはリスクが高い展開となっている。

大型株には売り圧力が高まっており、VN30 指数は 2.05% 安の 898.23 ポイントで取引を終えた。

最も下落した銘柄はエクシムバンク（EIB）、VP バンク（VPB）、テクコムバンク（TCB）、モバイルワールドインベストメント（MWG）、コテコンズ建設（CTD）などであった。

EIB はストップ安の 6.9% 下落した。

投資家は中小型株への投資機会を求めているため、小型株指数は 0.23% 上昇し 788.31 ポイントで取引を終えた。

サイゴンハノイ証券によると、下落トレンドは一時的なものだろうとのことだった。

VN30 指数先物 12 月限は 914 ポイントで取引を終え、16 ポイントほど VN30 指数よりも高かった。

この差は指数が今後反発すると期待されているということを示している。

VN 指数は金曜日に反発し、995-1000 ポイントの抵抗線を目指す展開になると同社は予想した。

ハノイ取引所の HNX 指数は 0.16% 下落し 104.74 ポイントで取引を終えた。

水曜日に同指数は 0.55% ほど下落していた。

ディスクレイマー

このニュースは、投資の参考となる情報の提供を目的としたもので、投資勧誘を目的として作成したものではありません。投資に関する決定はご自身の判断でなされますようお願い申し上げます。このニュースは、信頼できると考えられる FiinPro という情報源に基づいて作成されていますが、その情報の正確性、完全性を保証するものではありません。このニュースは、Japan Securities Incorporated (JSI) から直接提供するという方法でのみ配布いたしております。このニュースのいかなる部分も一切の権利は JSI に帰属しており、電子的または機械的な方法を問わず、いかなる目的であれ、無断で複製または転送等を行わないようお願いいたします。